

世界省エネルギー等ビジネス推進協議会 第2回総会

平成21年5月14日、経団連会館ホールで世界省エネルギー等ビジネス推進協議会の第2回総会が開催された。同協議会は、政府と経済界が連携して、地球温暖化問題とエネルギー問題の解決のカギとなる省エネ・新エネ技術をビジネスとして世界に普及させていくための中核母体として2008年10月に設立された。

第2回総会の議長を務めた同協議会・御手洗富士夫会長は、冒頭のあいさつで「世界最高水準にあるわが国の省エネ・新エネ技術は世界各国から求められている。その要請に応えるために、ビジネスベースでの省エネ・新エネ技術の普及拡大が急務であり、政府や関係業界の皆さまのご協力をお願いしたい」と訴えた。

これに対して、来賓として出席した石田徹資源エネルギー庁長官は「深刻な不況下ではあるが、省エネ・新エネ技術の需要開拓こそ効果的な経済政策になるという国際的な共通認識が形成されつつある。資源エネルギー庁としても、いっそうの普及に努めたい」とあいさつした。また、外務省の木寺昌人国際協力局長は「4月に開催されたアジア・エネルギー産消国閣僚会合では、産油国・消費国間で省エネ・新エネ技術を導入促進することの重要性が確認された。この会場でも注目された『国際展開技術集』（協議会発行）は、日本の技術を世界の国々に役立ててもらうために、すべての在外公館に配布している」と述べた。

第2回総会では、「平成20年度決算」「平成20年度事業」「平成21年度予算及び事業計画」などが報告され、官民連携による省エネ・新エネビジネス展開の取り組みを推進していくことが確認された。

（月刊省エネルギー 6月号より）



御手洗会長



石田長官



木寺局長